

沖縄事業再生

5月 総会・勉強会のご案内 (第86回)

2019年4月11日
沖縄事業再生研究会
代表理事 与世田兼稔、竹下勇夫

場 所：沖縄振興開発金融公庫 5階会議室

日 時：**2019年5月16日(木) 18:00~20:00**

(総会・理事会) 18:00~18:10

1. 第15回定期総会
2. 会員入会申込者の承認について
3. その他

(勉強会) 18:10~20:00

**【テーマ】 プロセス・コンサルティング
必要な支援に導くための手法**

講 師：株式会社 TG コンサルティング 代表取締役社長 玉井豊文先生

【講演等の概要】

デジタル革命の深化、世界情勢の地政学的変化、人口減少など現下の厳しい経済情勢を地域が乗り越えていくためには、地域経済を支える中小企業等の収益力向上と雇用創出を図っていくことが重要です。一方、こうした地域中小企業等の経営者は、多種多様な課題や悩みを抱え、真に取り組むべき経営課題の把握自体が難しい場合が少なくありません。

このため既存の支援策に加え、地域金融機関等が連携して、経営者に寄り添いながら、経営者自らが経営課題を正確に把握することをハンズオン支援し、当該課題に適した専門家や支援機関に「橋渡し」を行い、その経営課題解決と組織力強化に導く「プロセス・コンサルティング」による伴走型支援スキームの展開が、地域中小企業等の効果的な支援手法として期待されています。

地域金融機関、公的機関及び再生実務家等の皆様に当該スキームの有効性、重要性について理解を深めていただく「コンサルティング機能強化セミナー」として講義を致します。

【講師ご紹介】

1980年日本興業銀行入行後、大口不良債権処理等に従事。その後、みずほ証券及びその関連会社にてM&A・事業再生ファンドの運営に携わる。2004年外資系投資会社の日本支店代表を経て、2006年TGコンサルティングを設立。多くの企業の経営改善支援・事業再生を手がける。事業再生実務家協会常務理事。

(紹介者：与世田代表)



第 86 回勉強会 (2019 年 5 月 16 日)

プロセス・コンサルティング 必要な支援に導くための手法

講 師 株式会社 TG コンサルティング 代表取締役社長 玉井豊文先生
紹介者 与世田兼稔代表 (参加者 27 名)

デジタル革命の深化、世界情勢の地政学的変化、人口減少など現下の厳しい経済情勢を地域が乗り越えていくためには、地域経済を支える中小企業等の収益力向上と雇用創出を図っていくことが重要である。一方、こうした地域中小企業等の経営者は、多種多様な課題や悩みを抱え、真に取り組むべき経営課題の把握自体が難しい場合が少なくない。

このため既存の支援策に加え、地域金融機関等が連携して、経営者に寄り添いながら、経営者自らが経営課題を正確に把握することをハンズオン支援し、当該課題に適した専門家や支援機関に「橋渡し」を行い、その経営課題解決と組織力強化に導く「プロセス・コンサルティング」による伴走型支援スキームの展開が、地域中小企業等の効果的な支援手法として期待されている。

地域金融機関、公的機関及び再生実務家等の皆様に当該スキームの有効性、重要性について「コンサルティング機能強化セミナー」として講義をしていただいた。

金融庁が 1999 年に導入した「金融検査マニュアル」は、約 20 年を経て廃止された。それに変わる指針として、「事業性評価」と「深度ある対話」という考え方の下、融資の最重要視項目であった「安全性第一」から、借り手の事情を第一に配慮して、人を見て、事業を見て、融資するという方針が重要視されることになった。

その実践の一つとして、プロセス・コンサルティングということで実例に基づいた講義をしていただいた。

講義を伺った感想であるが、現状の「貸し手」と「借り手」の関係を見ると、貸し手上位の中で融資活動が行われている。その根底には、貸し手の組織がピラミッド型をしており、その組織を前提としての貸し手の業務運営に問題がある。借り手の状況を理解した「深度ある対話」は、むしろ逆ピラミッドの発想が必要であり、講義は逆ピラミッド的な発想によるプロセスコンサルティングの重要性を説くものであった。現状のタテ型のピラミッド型の組織に、逆ピラミッド型のコンサルティングを行うことは、難しくその方法や工夫等を聞きたいところであった。「貸し手」において、逆ピラミッド型の発想ができなければ「深度ある対話」の実現は特別な場合に限られ、難しいものとなるような気がした。この貸し手側など、日本における組織のタテ型ピラミッド型の経営は、時代遅れであり、他国との競争において負けるであろうし、組織内の活動の悪循環を招き効率の悪いものとなる。この組織の変換は徐々に起りつつあるが、現状においてのコンサルティング等は、これを前提として、効率の悪いことを行なっているように思える。どうすればよいのか、

この半年余り、沖縄サービサーの平良会長のご講演等(勉強会講演 1 回、キンザイ事業再生と債権管理執筆 2 回)を通して、直接面談して 6~7 回お話をおききすることができたが、サービサー事業も貸し手のピラミッド型組織への挑戦とも感じた。

